

2026年 8月 2日 《誕生祝福式・聖餐式》

主 日 礼 拝 8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 白川 達男兄

奏 楽

祈 祷 石井 秀人兄

賛 美 聖歌426番「あだに世をば過ごし」
～主と～

平和の祈り

聖書朗読 テモテへの手紙ー 3章1～7節
〔共同訳p377/口語訳p328〕

特別讃美 大和カルバリー聖歌隊

メッセージ 「パウロの弟子訓練ー敬虔の訓練①」
石井 潤牧師

聖 餐 式 賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金 聖歌229番「おどろくばかりの」
〔献金当番：寺澤[干]姉/渡辺姉〕

祝 祷

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～「イエスが愛したように」～

☆礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

☆今朝は聖餐式(十字架と復活)の恵みを感謝致します！／午後は執事会です。

★今週の祈会：明朝6時/木曜朝10時半(お掃除12時)と夜7時半/土曜夜8時

☆来週の日曜はボーマン先生ご夫妻による「サマーコンサート礼拝」です。昼食
があります。昼食代500円。(礼拝献金奉仕：渡辺姉・小林[弘]姉)

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [8/2ー/9]☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	使徒 28:17-31 /詩編 7-11	ローマ 1 /27-30	2/ 18-20	3/ 21-25	4/ 26-30	5/ 31-34	6/ 35-37	7/ 38-41
チェック	○/○○○○○	○/○○○○○	○/○○○	○/○○○ ○○	○/○○○ ○○	○/○○○ ○	○/○○ ○	○/○○ ○○

「パウロの弟子訓練—敬虔の訓練①」

～キリストの内に自分を見出す～

「私は、近いうちに、そちらを訪問したいと思いながらこの手紙を書いています。もしその訪問がしばらく実現しなくても、神が生き生きと働かれる教会のために、どのような行動をすべきかを、あなたに知ってもらいたいのです。教会は真理を明らかにし、また真理を守り支えるところだからです。敬虔を保つことは、決してなまやさしいものではありませんが、その秘訣はキリストのうちにあるのです。」

テモテへの手紙— 3章14-16a 節[LB]

パウロは素晴らしい伝道者でありましたが、その最終的な目的として意識していたことは、“いきいきとした神の教会を建て上げること”でした。そして、そのために大切なことは、神の教会の構成員としての人の育成でした。そして、その育成は何によってなされるかという、それは「敬虔の訓練によって」なされるということです。

この「敬虔の訓練」という意味がとてもとらえにくいと感じてしまいます。「敬虔さ」とは何なのか？別の言葉では「信心」＝「信じる心」。しかし、良く分かりません。英語では「Piety（「祈り、孝行」という意味もある）」が使われますが、それでも良く分からない。

私たちにとっての「敬虔さ」がどのようなものであるかを神様ご自身が見ておられます。なぜなら、その「敬虔さ」が、私たちの自己満足や、自分を誇るためのものになってしまう可能性があるからです。しかし、ここでパウロが語る内容は、その「敬虔さ」の秘儀であるということです。そして、その秘儀はキリストの内に存在すると語っています。どんなに自分自身の心を訓練したとしても、キリストの内に自分自身の心を発見することができなければ、その「敬虔さ」は、ただの自己満足でしかないということです。ですから、その違いを意識して、日々、キリストの内にいる自分自身を発見していきましょう！